

# 地域産業の国際競争力強化のための 多言語情報発信支援の研究開発

研究代表者: 井佐原 均

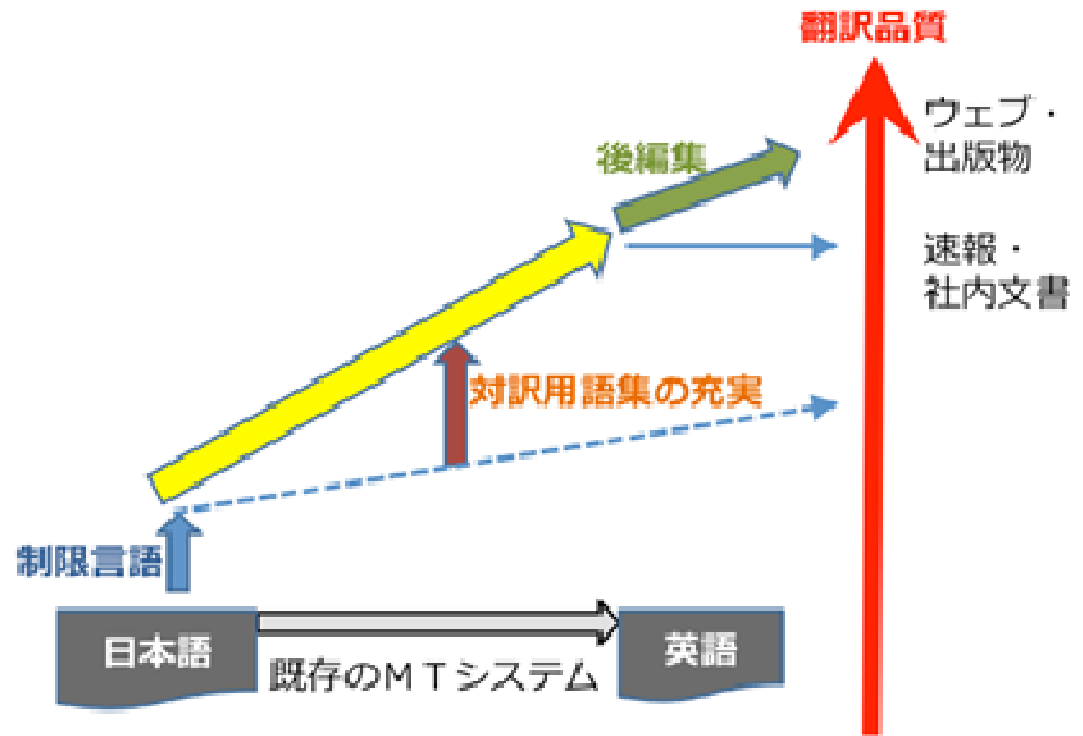
研究分担者: Tony Hartley

神崎 享子

豊橋技術科学大学情報メディア基盤センター

# 研究開発の内容

- 産業の国際競争力の強化に向けた喫緊の課題の一つに生産や営業に関わるさまざまなノウハウを的確に文書化し、さらには効率よく多言語化することがある。
- 本プロジェクトでは、実際に企業と連携しつつ、ICT技術を用いて実務に必要な情報の多言語での発信を支援する環境の構築を目的とする。



# 研究開発の成果「規格化日本語の開発」

- 自動車関連企業において、本研究開発で作成した文書規格に基づく文書作成を行い、機械翻訳システムを用いて、その結果を検証した。

簡潔な文を書く	(a)一文はできる限り70文字以内におさめてください。それ以上になる場合でも、100文字以内にはおさめてください。 (b)箇条書きで書くときは、列挙項目の前後の文を完結させてください。 (c)文の中に、括弧書きで長い説明を入れしないでください。
語句の関係をはっきり示す	(d)主語と述語の関係を明確にしてください。 (e)修飾語と被修飾語の関係を明確にしてください。

- 地方自治体のホームページでの検証

# 研究開発の成果「MTのチューニング」

- 用語自動抽出システム
  - 「統計的に用語(句)を抽出」
    - ⇒「用語の特徴を用いて間引き」⇒「人手での選定」
  - ✓ 実際の文書(自動車マニュアル)を対象
  - ✓ 再現率の減少を抑えつつ(83%⇒72%)
  - ✓ 適合率の向上(約10倍)を実現
  - ✓ 他の文書(楽器マニュアル)でも同様の効果

シートアッセンブリハーネスコネクタ  
シートエアバッグスクイブ回路の短絡の点検  
the rear wiper motor output shaft  
the A/C pressure transducer harness connector  
Control Change and Channel Mode

# 今後の研究開発成果の展開及び波及効果創出への取り組み

- 企業・翻訳会社等と、日本語の規格化と多言語情報発信についての意見交換会（平成25年3月）
  - 本成果の今後の活用に大きな期待
- 本研究開発によって得られた成果
  - ◆ 自然言語処理をはじめとする情報処理技術の国際競争力の強化に直結
  - ◆ 他分野の活動の情報発信に寄与
  - ◆ 国際標準化により、広い波及効果の創出